

令和8年度「市が優先的に取り組む環境課題」について

1 「市が優先的に取り組む環境課題」の概要

三鷹市環境マネジメントシステム「みたか E-Smart」においては、市の全職員が「市が優先的に取り組む環境課題」を認識し、課題解決に向けた目標を掲げ、達成に向けて取り組んでいく。

「市が優先的に取り組む環境課題」は、地球規模の課題及び社会情勢等を鑑みて市長が決定する。

2 令和8年度「市が優先的に取り組む環境課題」

全職員が、次の3つの課題を認識し、市の事務事業活動において、課題の解決につながる目標を掲げ、実行していく。

(1) 2050年ゼロカーボンシティへ向けての実行

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化を緩和する取り組みを実行していく。

(例)・ペロブスカイト太陽電池の普及に向けた取組

- ・学校空調設備の更新及び照明設備のLED化の実施
- ・公共施設への再エネ100%電気、カーボンオフセット都市ガス※の導入
※使用に伴うCO2排出量が実質ゼロの都市ガス
- ・公共施設新築時はZEB(ZEB Ready以上)を標準とすること及び太陽光発電設備の導入を検討
- ・既存公共施設への太陽光発電設備の導入を検討
- ・市民・事業者へのZEH・ZEB建築物の建設支援の実施
- ・森林環境譲与税を活用した姉妹町・友好都市とのカーボンオフセット事業の実施
- ・公共施設の設備更新における積極的な省エネ機器の導入の推進
- ・公用車における電気自動車、プラグインハイブリッド車等の導入
- ・出張の際の自転車、公共交通機関の積極的利用
- ・施設の照明、街路灯、防犯灯の省電力化・光害防止
- ・施設のトイレや廊下等への人感センサー付き照明器具の導入の推進
- ・AIデマンド交通の推進、コミュニティバスの運行最適化
- ・既存住宅への新エネルギー・省エネルギー設備設置助成制度の実施
- ・住宅の省エネ改修に伴う固定資産税の減額制度の実施
- ・学校給食へ三鷹産野菜を取り入れることによる地産地消の推進
- ・環境学習事業の推進
- ・時間外勤務の削減による電気、水道等のエネルギー使用量の抑制

(2) 地球温暖化をはじめとする気候変動への対応

気候変動は、熱中症、台風、ゲリラ豪雨など、私たちの健康や暮らしに影響を及ぼしていることから、気候変動に適応する取り組みをより一層推進する。

(例)・公園へのミスト設備の設置及び水遊びができる公園の整備

- ・低所得及び生活保護世帯へのエアコン購入費助成
- ・熱中症対策の普及啓発・注意喚起の実施
- ・緑化による熱環境の改善
- ・緑の保全や地域緑化活動などを担うボランティアの養成
- ・自然緑地の保全
- ・農地の保全と活用(牟礼里山農園(仮称)の整備など)
- ・Mitaka 快適ビズの推進
- ・都市型水害対策の推進
- ・生活環境に配慮した舗装の整備
- ・下水道再生計画に基づく各種事業の推進
- ・災害に強い公園づくりの推進

(3) 資源の保全

地球上にある様々な資源は、私たちの暮らしを支える大切なものであるが、私たちが毎日使い続けることによって減少しているため、無駄遣いを防ぎ、再生していく取り組みを推進する。

特に、デジタル活用をより一層進めていくことで、ペーパーレス化に取り組み、資源の保全及び業務効率化に繋げていく。

(例)・庁内ペーパーレス化の実施

(紙を前提とした従来の業務スタイルから、デジタルを前提とした業務スタイルに見直し)

- ・家庭用廃食用油の回収・再生
- ・リサイクルセンターの整備に向けた取組
- ・電子申告、電子申請の推進
- ・ウェブ会議活用の推進
- ・ごみ減量やリサイクルについての啓発活動の実施
- ・食品ロス削減の推進
- ・家庭用生ごみ処理装置等購入費助成の実施
- ・再生資源集団回収事業の推進
- ・省エネルギー活動を推進する人財の育成
- ・YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」を活用した周知、啓発
- ・キャッシュレス決済の利用促進